

# 平成13年度事業報告

自：平成13年4月20日

至：平成14年3月31日

## 【事業実施概要】

特定非営利活動法人「広瀬川の清流を守る会」の初年度活動計画は産学官民協働で広瀬川と流入流出する支派川の環境改善を主たる目的とする諸活動を実施した。河川に対する知識を広め、子供たちから大人まで広瀬川を五感で感じて学ぶワークショップを通し総合学習と生涯学習に寄与した。情報公開はホームページ上で活動内容の発信、「今日の広瀬川」コーナーでは毎日、生きた広瀬川の状況を発信し、500回目を迎えた。以下、下記の通り事業報告をおこなう。

## 1. 公開講座

月日	テーマ	講師
4月25日	川と海のつながり	東北大学 工学部 教授 田中 仁氏
5月23日	広瀬・名取川の川づくり	国土交通省仙台工事事務所工務第一課長 本田 保恵氏
6月27日	業用水の役割	宮城県農業短期大学 農業土木科 教授 加藤 徹氏
7月15日	H/P 今日の広瀬川	メディア工房 代表 菊地 重夫氏(会員)
8月22日	地域通貨	アーバンネット仙台 代表 小地沢 将之氏
9月26日	広瀬川名取川をめぐる河川文化の今昔	仙台郷土研究会 吉岡 一男氏
10月24日	旧宮城町の公害・広瀬川上流	元市議会議員 阿達 孝治氏(会員)
11月28日	広瀬川の河川行政	宮城県土木部河川課 小野寺 信氏
H14/1月23日	広瀬川を活かしたまちづくり	仙台市都市総研 主任研究員 渡辺 洋一氏
2月27日	河川ゴミ投棄と対応	宮城県仙台土木事務所 建設第3班班長 藤井 慶吾氏
3月27日	国から見た川づくり	国土交通省東北地方整備局 河川調整課長 大嶋 武志氏

## 2. ホタル事業

月日	活動	備考
7月 2日	ホタル採取(亘理町)	2日間で約1000人がホタル観察会に訪れる ホタル幼虫約300匹とカワニナをゲンペイ君のセットで貸与 ホタル幼虫約300匹とカワニナをゲンペイ君のセットで貸与 同上
7月 6日	ホタル採取(同上)	
7月7日~8日	第2回 ホタル観察会	
9月18日	若林小学校にホタル飼育水槽貸与 飼育水槽 菊地重夫会員宅設置	
10月21日	同上 高橋知子会員宅設置	

## 3. 河川清掃 4月~12月 第2土曜日開催 広瀬橋周辺

第1回	4月14日	郡山堰~広瀬橋~八本松付近 (参加者34名)
第2回	5月12日	郡山堰~広瀬橋~八本松付近 広瀬公園前の河川敷 (参加者22名)
第3回	6月9日	広瀬公園前の河川敷~郡山堰~愛宕堰 (参加者19名)
第4回	7月14日	八本松付近から郡山堰までの河川敷 (参加者21名)
第5回	8月11日	郡山堰~広瀬橋~八本松付近 (参加者27名)
第6回	9月8日	郡山堰~広瀬橋~八本松付近 (参加者24名)
第7回	10月13日	広瀬橋付近の河川敷~宮沢橋までの兩岸の歩道付近(参加者36名) 芋煮会
第8回	11月10日	郡山堰~広瀬橋~八本松付近 (参加者26名)
第9回	12月8日	郡山堰~広瀬橋~八本松付近 (参加者62名)長小の子供達、先生多数参加
第10回	14/3月9日	郡山堰~広瀬橋~八本松付近 (参加者20名)
第11回	14/4月11日	郡山堰~広瀬橋~八本松付近 (参加者30名) 終了後「花見」

第2回「広瀬川初歩き」平成14年1月13日(日) 10:30～12:00

広瀬橋から中ノ瀬橋まで広瀬川河畔を流域の歴史、言い伝えなどを学びながら歩いた。普段見慣れている川岸を改めて歩いてみると、形を変えて流れる川の光景やそそり立つ兩岸の河岸段丘に参加者は感動した様子。また、土砂堆積による中州や樹木の成長も確認しながら松野会員の説明を聞いた。先頭には木村成三君が当会の旗を最後まで元気に持って歩き、大橋では江刺先生が自宅近くで出迎えられ、甘酒で疲れを癒し、懇談の後に伊藤会員のバスで帰路に着き、楽しい一日を過ごした。参加者20名。(hpより転記)

#### 4. イベント

第2回「政宗さんの川狩り」 8月25日(土) 開催 (参加者200名)

台風一過好天を迎えたが、早朝なお高水。安全優先を配慮し、ビニールプールにアユを放ち予定事業実施。子供達に魚の掴み取りをさせた。その後、アユの塩焼きを試食、五感で感じる川ワークを行った。この模様は翌日河北新報社朝刊や仙台市広報・グラフ仙台などに掲載された。

仙台開府四百年記念歴史講演会「河水千年の夢」 11月20日(火) 楽楽楽ホール(参加者200名)

伊達政宗公築城の折広瀬川に架けた大橋の擬宝珠に刻まれた「仙人橋下 河水千年 民安國泰 孰与堯天」(川流れが千年も変わらないように民・国も安泰で繁栄し、中国古代帝都長安に比較するほどに。)の意味と、作者である虎哉禅師について触れ、仙台開府に懸けた夢と政宗公の愛した広瀬川について語りあった。パネラーは伊達家十八当主 伊達泰宗氏、瑞巖寺住職 平野宗浄氏、仙台市博物館前館長 濱田直嗣氏、コーディネーターは日下会長。

#### 5. 広瀬川なんでも相談室

国、県、市協議の下、広瀬川に関する一元的窓口(東北初)を11月20日に開設した。

河北新報社、仙台市の広報誌によってPRされ、相談返答は29件であった。内容は中州と樹木の繁茂による洪水懸念に対する懸念や河川敷きの無断使用(畑耕作)の問題提起、小学生からの水生生物に関する相談など、切実な相談から一般相談まで様々あり、ワンストップサービスの即答や河川管理の宮城県土木事務所などと確認しながら慎重に返答した。

#### 6. 情報公開

ホームページによる活動予定ならびに報告、毎月会員宛発行の広瀬川通信、河北新報社読者のひろば掲載による行事の周知とPR、その他各種メディア媒体による活動の発表。また、酒田で開催された東北『川ワークショップ』へ参加。広瀬川どっと混む(hi-rosegawa.com) - 100万人の川づくり - と題し、当会の活動を紹介した。

#### 7. 出前講師

長町小学校、若林小学校、国見小学校、南材小学校にて総合的学習「広瀬川と生き物(ホタル)」について講演。

#### 8. その他

国土交通省「21世紀の名取・広瀬川を考える懇談会」「仙台市広瀬川創生プラン」などの委員会に出席し意見を述べた。